



第22回梓川女性フォーラム 私の「終活」

梓川女性団体連絡協議会主催による第22回梓川女性フォーラムが、1月28日(土)に、梓川老人福祉センターと梓川公民館を会場に開催されました。

その後、市社会福祉協議会主催による第22回梓川女性フォーラムが、1月28日(土)に、梓川老人福祉センターと梓川公民館を会場に開催されました。



田少年少女合唱団による公演が行われ、少数精鋭の10人が、アンコールを含む7曲を披露してくれました。どの曲も透明感のある歌声で、会場にいる皆さんの心の中まで響き渡りました。また、小学1年生の2人によるピクニックマーチでは、可愛らしい歌声で、会場は穏やかな雰囲気になれました。

「終活」とは、就職活動の「就活」や「婚活」から派生した造語で、これからの人生をどのように生きるか具体的に考えてみることであります。

から自分の気持ちを整理して、周りの方へのメッセージをエンディングノートに書き留めておくことで、これからの人生を安心して、より積極的に生きていく原動力になります。年齢は関係なく、書きやすいところ、興味のあるところから、気軽に少しずつ書き留めてほしいと、お話をさせていただきました。これを機会に、配布されたエンディングノートに、少しずつ記入していきたいと参加者から聞くことができました。



講演の後は、会場を梓川公民館に移して、手づくり料理の試食と加工品の販売が行われました。試食では、具だくさんの豚汁、おにぎり、お餅や甘酒など、安心・安全な手づくり料理が来場者に振る舞われました。また、梓川スイーツコンテストで優秀作品に選ばれたスイーツも販売され、多くの来場者が買い求めている姿が印象的でした。

第16回信州梓川賞展 梓川流域の風景・文化・行事

2月17日(金) から3月20日(月)の間、梓川アカデミア館で第16回信州梓川賞展が開かれ、初日の17日には入賞、入選作品の表彰式及びオープニング式典が行われました。今回は一般の部に六十点、小中学生の部には三二一点の応募があり、その中で最高賞となる梓川賞一点をはじめ、金賞一点、銀賞二点、銅賞五点、特別賞二点が選出され、表彰が行われました。式典で、宮坂実行委員長の「創成するものではなく、感性を研ぎすませればそこにある。それがふるさと。」との言葉を象徴するかのよう



な素敵な作品ばかりが選ばれました。中でも、梓川賞を受賞した野村栄一さんは、知人のりんご畑でりんごを収穫するご夫婦を描いており、「全国に梓川賞を知ってもらうのに、とても良い作品で特別ではない日常が描かれていることに好感がもてる。」(松本市美術館長 小川稔審査員)、「絵画としての緊張感が伝わってくる。人物の顔が見えないことで、りんごという主題が入ってくる。」(洋画家 征矢野久審査員)といった講評がありました。

八景山公民館 「歌の教室」

八景山公民館では、今年で16回目となる家庭教育学級「歌の教室」を、2月26日(日)に開催しました。講師は、八景山町会の小松規美子先生です。

毎年、この時期に開催しているため、先生の手作りの歌の本を手にとると、寒さ厳しい中にも、春が近づいていることを感じます。今回も体操を交え、呼吸の練習、そして「故郷」、「翼をください」をはじめ、全17曲を皆で歌いました。続けて参加している6年生の岸田和さんは、「知らない曲も多いけど、ここに来れば楽しく歌える。『ありがとうさようなら』などはコマー



シャルで替え歌を聞いたことがある」と話していました。毎回参加している方も多く、途中休憩の茶話会も盛り上がりました。同じ町会に居ても顔を合わせる機会が意外と無いもので、老若男女がそろって貴重な一日になりました。これから長く続く教室にしたものです。

花見公民館 「囲碁ボール大会」

2月5日(日)に花見公民館において、花見町会恒例の「囲碁ボール大会」が行われました。囲碁ボールは、7月の梓川地区スポーツ祭でお馴染みですが、元々は囲碁の町、兵庫県水上郡柏原町(現在の丹波市)において誕生しました。碁盤に見立てた人工芝の専用マットと白黒のボール、ゲートボール用のものと同じ形状の木製スティックを用いて五目並べを行う、ニュースポーツです。子どもからお年寄りまで年齢や性別を問わず楽しむことができます。

花見町会は6班に構成されており、予選は各班総当たりで行われ、上位3チームが決勝トーナメントに進みます。小学生は、慣れない競技に戸

惑いながらも、徐々にコツを掴み上手になっていきました。休憩時には、朝早くから女性公民館役員の皆様が用意してくれた豚汁を御馳走になり、寒い日でしたが、心も体も暖まり、美味しくいただきました。競技の結果は、2班の優勝で幕を閉じました。毎年この時期に、花見町会球技大会として行われていいますが、過去には「野球」、「ソフトボール」、「ゲートボール」など、競技が変わり現在に至っています。世代間の交流が深まり、楽しい時間を過ごすことができました。



旅立ちの春



3月16日 小学校卒業式



3月15日 中学校卒業式

あずさっ子みもり隊 ボランティア募集

保護者、地域の中から「子どもを見守り、地域で子どもを育もう」ということに賛同していただけるボランティアの方を随時募集しています。現在、約20の方が地域で活躍しています。

目的

交通事故、川の事故に子どもが巻き込まれにくい地区にすること。
不審者等が犯罪を実行しにくい地区にすること。
(=安心・安全のまちづくり)

活動内容

- ①見守り。学校通学時に通学路であいさつや声がけ。
- ②身の周りで不審者(車)等を見かけたときは、警察への通報、学校へ情報提供。

防犯パトロール、交通指導、補導はしません。

『見守る』というスタンスでのボランティア活動です。

お問合せ 梓川公民館 TEL 78-3000